

荻田町70年のあゆみ

旧荻田町・小波瀬村・白川村の合併から70年目を迎えた荻田町は、陸・海・空の交通結節点として発展し続けています。そこで、荻田町が歩んできた軌跡を振り返り、70年間の主な出来事をご紹介します。

1960

昭和30年 旧荻田町・小波瀬村・白川村合併
昭和31年 九州電力(株)荻田発電所発電開始



1970

昭和37年 青龍窟、国の天然記念物に指定
昭和38年 県立荻田工業高校開校
昭和42年 西日本工業大学開校
昭和43年 重要港湾である荻田港が貿易港に指定



1980

昭和46年 役場新庁舎・三原文化会館完成
昭和48年 荻田山笠が県無形民俗文化財に指定
昭和50年 日産自動車(株)九州工場操業開始
昭和54年 中央公民館・消防庁舎新築完成



昭和52年 人口が3万人を突破しました



1990

昭和56年 総合体育館完成
昭和60年 石塚山古墳、国史跡に指定



町の木に「クスノキ」、町の花に「三色スミレ」が決定



2000



平成2年 荻田町立図書館オープン
平成5年 町のシンボルマーク決定
平成10年 等覚寺の松会が国指定重要無形民俗文化財に指定
平成11年 パンジープラザがオープン
平成12年 小波瀬土地区画整理事業完了



2010



平成16年 トヨタ自動車九州(株)進出
平成18年 北九州空港開港・JR荻田駅リニューアル
平成23年 荻田町民温水プールがオープン
平成26年 荻田町観光協会設立
平成31年 荻田交番がJR荻田駅横に移転

東九州自動車道荻田北九州空港IC開通・空港連絡道路が開通



2020

令和5年11月 人口が37,855人で過去最高となりました



令和2年 荻田町新型コロナウイルスワクチン接種開始
令和6年 荻田町SDGs子ども議会を開催
令和7年 荻田町合併70周年



人口21,598人でスタートした荻田町。増え続ける人口の軌跡を見てみましょう！

人口	1955年 21,598人	1965年 24,726人	1975年 27,771人	1985年 32,341人	1995年 35,072人	2005年 34,387人	2015年 34,963人	2020年 37,684人
----	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

※各年の人口は国勢調査によるもの